

か み い ち ち ゅ う お う

# 上市中央地区

(富山県上市町)

- 計 画 期 間 平成 22 年度～平成 26 年度
- 面 積 386 h a
- 交付対象事業費 587 百万円
- 町人口 19,505 人

**ポイント** 劔岳の恵みが育む人と環境に優しい魅力ある市街地の再生

**地区概要** 富山地方鉄道の新駅及び周辺施設の整備を核とした交通の利便性向上や歩道改良、公園施設の整備等を行い、地域の活性化を目指す。

**目 標** 鉄道駅新設とそれに伴うコミュニティバス停留所整備による公共交通利用の利便性向上  
 まちなかのアクセス円滑化や歩行環境の改善によるまちなかの魅力向上  
 地域特性を活かした新たな魅力の創出

## 指 標

公共交通利用の利便性を向上及び、生活基盤を整えることにより、減少傾向を続ける交通機関の利用者や地区人口の維持を目標とした。

鉄道駅乗降客数	762,068 人 (H20)	→	780,000 人 (H26)
地区人口	7,560 人 (H20)	→	7,300 人 (H26)
観光入込客数	566,000 人 (H20)	→	570,000 人 (H26)

## 事業内容

- 基幹事業 (450 百万円) → 街路 (2 路線、550m)、町道 (3 路線、360m)、交差点改良 (5 箇所)、駅広場整備、新相ノ木駅トイレ整備、上市駅周辺照明施設整備、カミール交流空間整備
- 提案事業 (137 百万円) → 新相ノ木駅整備、コミュニティバス停留所施設整備、上市駅前時計塔整備 (1 箇所)、劔岳ビューポイント整備 (3 箇所)、カミール賑わい空間整備



完了地区 富山県

## 地区の現況と課題

本地区の大部分は用途地域指定がなされているが、東側は狭く複雑に入り組んだ道路状況の下で木造住宅が密集立地するなど、古くからの街の形態が引き継がれた既成市街地から成る。一方、西側は一部で土地区画整理事業などの都市基盤整備の実施に伴って宅地化が進展しつつある進行市街地であるが、現状では市街化は滞っている状況にある。

また、本地区には、富山地方鉄道本線が通過しており、人々の通勤通学などの足として利用されているが、利用者は減少傾向にある。

そこで、鉄道駅の新設に伴う駅周辺整備やコミュニティバス路線の拡充など、町民が公共交通機関を利用しやすい環境を整えることによる公共交通の利用促進や、都市計画道路未整備区間の整備促進ボトルネック交差点の解消によるまちなかへのアクセスの円滑化や安全、安心、快適に歩ける歩行空間の確保などを図る必要がある。



新相ノ木駅整備



カミール賑わい空間整備

## 提案事業の特徴

### 新相ノ木駅整備

富山地方鉄道「新相ノ木駅」の整備にあわせて広場やパーク＆ライド駐車場等を整備し、鉄道駅（新駅）の利便性向上を図る。

### コミュニティバス停留所施設整備

コミュニティバス「弓庄線」の運行ルートを変更し、新相ノ木駅前及び正印地内にバス停留所を整備し、新駅への利便性を向上する。

### 劔岳ビューポイント整備

上市町の魅力の一つである北アルプスの雄大な眺望を活かす視点を劔岳ビューポイントとして位置づけ、案内看板とベンチの整備を行う。

### カミール賑わい空間整備

中心市街地に立地する店舗空間の一部を改修、活用し、地域住民の賑わい、交流空間として再生する。



整備前



ボトルネック交差点

整備後

## 計画策定プロセス

### まちづくり検討委員会の設置

副町長を委員長とし、町の企画部門・環境部門・福祉部門・観光部門・建設部門の担当課長からなるまちづくり検討委員会及び各部門の担当者からなる幹事会を開催し、実施事業の抽出・検討を重ね、都市再生整備計画の策定を行った。